

とまこちゃん通信 VOL.24

2018年4月



☆ホームページみてね！☆ : tomato-dc.com

とまと歯科クリニック

(又は「とまと歯科 託児」で検索)

☆今回のテーマ☆

「歯医者さんはお口の神社 ～お口を清めるとなぜ体が健やかになるの？～」

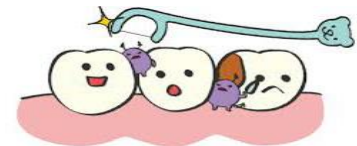


3月17日(土)、上記タイトルで広島県歯科医師会館にて広島市歯科医師会 市民公開講座が開催されました。講師は以前 口腔育成学会やアンチエイジング歯科学会でもご講演された内科医の西田 亙先生です。西田先生は糖尿病の専門医でいらっしゃいますが、「糖尿病がイヤなら歯を磨きなさい」という本を執筆されました。

日本人の歯周病＝歯周炎に対する意識の低さ、危機感の不足について危惧されていて、国民がもっと健康で幸せ＝幸せになるためにはもっと歯科医院に通院し定期的に清掃を受けるべきだと言われています。

それはなぜか。炎症というのは身体の火事、といえます。インフルエンザなど一時に強い症状を出すのが治るものは大火事。それに対して歯周炎はボヤ。ボヤが何十年もずっと続いているとそれによる身体のダメージは大きく、老化が早まります。

その理由は、お口の清掃できれいにしなければいけないものは、私達は歯垢と言っていたが、歯糞であるという衝撃的な言い方をされました！！



歯糞は、細菌と、それが作り出す毒素などでできていて、べたべた歯にひっついていて、体の中でもお口は最も赤い部分。それは血管がいっぱいということです。歯周炎で歯茎から出血するということは血管に穴が開いているという状態で入口となり、この入口から歯糞などが入り全身を駆け巡るのです！！全身を駆け巡る歯糞により全身の血管はじわじわ痛めつけられ老化が加速されていくのです。

さらには、この歯糞は歯茎の上(歯肉縁の上)と下(歯肉縁下)という場所に存在するので、縁の上はご自分で。縁の下は歯科院で。定期検診ではなく定期清掃が大事。と強調されていました。

歯に関することですが、お医者さんに言われるとやはり説得力あるなあ。と、そのわかりやすく心に残る言い回しがとても勉強になりました。

院長 廣瀬 佐都子



とまと歯科クリニックの理念： 地域の皆様のお口の健康を守り育てることに全力をつくし、より快適で幸せな人生のお手伝いをします。

質問:「セラミック」と「ジルコニア」何が違うの?

答え: 普段の生活の中では、あまり耳にしない言葉かもしれませんが。様々な業界で役に立っている物なのですが、歯科における「セラミック」と「ジルコニア」について、中でも、歯を削った後の、詰め物や被せ物に使われる場合のお話をしたいと思います。

ここからは少し難しいお話になってしまいます。ごめんなさい……。まずは大前提として、自費診療であるということをご了承ください。



「セラミック」: 陶器材料のことです。広い意味でいうと、無機物を加熱処理し、焼き固めた焼結体(しょうけつたい)を指します。

これは大まかなくくりで、ジルコニアはセラミックの一種なのです。

「ジルコニア」: 二酸化ジルコニウム。人工ダイヤモンドと言われるほど、強度の高いものです。(アクセサリーに詳しい方は、キュービックジルコニアって聞いたことありませんか?)

セラミック系素材の中でも、**圧倒的に丈夫**です。



セラミックもジルコニアも白くてきれいなのですが、それぞれに適した部位や特徴があります。

セラミックは**透明性が高く**、**天然歯にとても近い色調を再現できる**ので、前歯の被せ物に適しています。

ジルコニアは**硬くて耐久性に優れている**ので、奥歯、特に大臼歯といわれる部位の詰め物や被せ物に適しています。

金属を使わないので体にも安心なのですが、デメリットもあります……。自費診療なので、どうしても費用がかかります。金属に比べると脆いので、欠けたり割れたりする可能性があります。また、被せ物の厚みを確保するために、歯を多く削る必要があります。

どの材料にもメリット・デメリットがあります。どうか悩んだときの参考になれば良いなと思います。

いくつか種類がありますので、気になられたら、お気軽にお尋ねくださいね。

難しいお話にお付き合いいただき、ありがとうございます。

惇也くん(2歳7か月)



今月の **ぶちとまと**



ちょうちょの羽根にポンポンして
楽しんでいます♡

葉奈ちゃん(2歳8か月)

